助川山保全くらぶ
第１５１号
（平成10年11月28日創刊）

助川山保全くらぶ

http://www.net1.jway.ne.jp/zg6y-hri/

令和６年３月１日
会　長 岡田　譲
編集者 鈴木 睦男
TEL. 36-6538

台風被害復旧までの助川山保全活動

★令和５年９月の記録的大雨で「助川山市民の森」でも大きな被害があり、特にひねり沢では遊歩道が削り取られ、橋が流出したりの甚大な被害が発生した。
★この為、令和５年９月以降は管理道路以外のルートは立入り禁止処置が採られ、年明けもこの処置が継続、今のところ修復は何時になるか不明の状況だ。
★こうした状況なので保全くらぶとしても例年通りの保全活動が制約され、主として管理道路沿えの作業が中心になると思われる。
★この状況の中でも保全くらぶとして出来ることはやることにして、手作業中心だが、ビオトープのミズバショウ周りに柵を超えて侵入した大量の土石を柵外に排出しているが、放置しておくと土石を含んだ状態で固まりそうなので頑張って作業している。

★また、ネイチャーセンターの後、西側には100本以上の樹齢40年を超える赤松があり、そのうち30本位が枯れている。樹木の間隔が狭く、処理が難しいため現状は枯損木が倒れてからの処理が主体となっている。

倒木の処理作業

★くぬぎ広場西側では、管理道路から頂上が見えるようにし、市外からの来場者が最初に目にするところなので頂上と同じように、ツツジやニシキギなどを植え景観を良くしたいと頑張っているところだ。

景観向上作業

間伐作業・園内整備作業

保全項目	実施日	作業内容	作業の様子
間伐作業	１月16日 １月23日 １月30日 （定例・景観）	・馬力神植樹地の間伐実施。平成13年(市)、平成16年(保全くらぶ)植樹後ほぼ間伐なしで来たので間伐作業を実施。 ・樹木間隔が狭く「線香林」で枝が少なく樹高が高い状態。 ・健全な林とする為、総数280本中130本を伐採予定で、２年に亘り作業することとし、本年度分間伐を実施した。	
景観向上作業	１月25日 ２月１日 ２月８日 (野草)	・くぬぎ広場西側の景観向上作業を３回に亘り実施した。 ・１月25日は管理道路側にヤブツバキを移植した。 ・２月１日はおむすび池バイパス付近からツツジを採取し、４０本程移植し、これが値付けばツツジ移植は１段落。 ・２月８日はニシキギ約４０本をツツジの間に移植した。	
側溝掃除作業	２月13日 ２月20日 ２月27日 (景観・定例)	・管理道路側溝の土砂掃除と堆積している落葉収集作業を実施。側溝掃除は馬力神からおむすび池にかけ、更に森の教室入口まで頑張りたいのであと２、３回程度は必要。 ・２回目でＳ字のバイオトイレ迄、３回目で助中植樹地まで終了。作業日は２０度の陽気や冷たい強風の日もあった。	
ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟ修復作業	２月15日 (野草)	・昨年９月の大雨でビオトープ柵内に流入、堆積した土石の柵外排出作業を今回含め数回に亘り実施した。 ・ミズバショウ生育場所に堆積した大量の土石排出は、全体の約１／３程度まで搬出出来たかと考えている。 ・これで先ずはミズバショウが復活することを期待したい。	

高齢者資格取得制度

★市高齢者資格取得支援補助制度を活用の**各種資格取得への**挑戦！。
★高齢者の**生きがい作り機会拡大**と云うことで取得経費の１部補助制度。「くらぶ員」も挑戦してみてはどうか。
★事前に市に補助対象か確認要、合格後に申請。
★木幡さんも「森林ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ」で申請・認可済。
★担当：市役所
　　高齢者福祉課

シイタケの原木栽培を楽しむ

榾木の本伏せ

★年明け１月９日、新年度初日の作業の後半に、森の教室前広場の日陰で、時々日も当たる場所に、昨年植菌したシイタケの榾木約120本、柵を作り立て掛けた。豊作期待！

原木調達

★馬力神付近の植樹林の間伐作業で伐採したコナラ等でシイタケ栽培の原木に適したもの約１６０本を森の教室へ運搬し、保管中。
★温かくなってから原木へ植菌の予定。

カブト虫幼虫の提供

★成長過程観察用にカブトムシ幼虫を市内の保育園や成小に提供した。
★木幡さんに４保育園、計80匹余り、平井さんには成小へ30匹提供戴いた。
★残り30匹程度で腐葉土作りで200匹程捕獲か。

＊総会のお知らせ＊

★期　日：４月６日
★場　所：森の教室前広場
★議　題：令和５年度実績
　　令和６年度計画

「助川山市民の森」の冬の野鳥

（鈴木）

★冬は野鳥観察に適していると云われているようだ。春の野草が花開く前に、野鳥観察をしながら散策し、山を楽しんで貰いたい。

★この時期、助川山でも良く見られる野鳥の人気者は**ジョウビタキ**と思われる。オスは色合いが良く、分かり易い。
山の作業の時、近くの枝に留ったり愛嬌もある。

ジョウビタキ(♂)

ジョウビタキ(♀)

★同じく人気者に**ルリビタキ**がいる。オスは鮮やかな瑠璃色だがメスは地味な色合いだ。

ルリビタキ(♂)

ルリビタキ(♀)

★一般に良く知られているか不明だが**ウソ**と呼ばれる冬鳥がいる。数羽が木に止り小さな声で鳴くが、名前の由来は口笛を意味する古語の「うそ」から来ていて、ヒーホーと鳴き、口笛のように聞こえる事から名付けられたと云う。

ウソ

★次に、鮮やかな紋様が目立つキツツキの**アカゲラ**と**コゲラ**。
アカゲラの体長は20ｃｍを超えるがコゲラはスズメと同じ位で日本のキツツキでは１番小さいと云う。

アカゲラ

コゲラ

★さて、春にかけて人気の**ウグイス**は冬場は地鳴きだが、春のさえづりが待たれる。

ウグイス

季節の花便り・・野草班

☆季節の野草便り
昨年９月の大雨でひねり沢の流域には大量の土砂が流れ込み、遊歩道などを覆いつくした為、今まで見られた草花が見られなくなる心配がある。春先のユリワサビ、ニリンソウに続きカキドオシなどはどうなるか大変気になるところです。
ただ、砂防ダムのところに大量に生えるイタドリが死滅してくれればと思うのですが・・・・。

タネツケバナ

オオイヌノフグリ

フキノトウ

ヒメオドリコソウ

ホトケノザ

セイヨウタンポポ

☆季節の樹木便り
全国的に被害が拡がっていると云う「ナラ枯れ」だ。助川山でも「ひよどり越え」のミズナラに始まり、やまぐりの丘や馬力神でも見つかり、被害が広がる心配が出てきた。今のところ市に報告し処置を依頼することになるが、被害が拡大しないよう方策は無いものか。

ヤブコウジ

スギ

アセビ

ヤツデ

コウヤボウキ

ミヤマシキ

担当：（鈴木）

パトロールだより

◆昨年９月の台風の影響によりひねり沢を中心に各トレールは立入禁止としているが、入山者の立ち入りが跡を絶たない。見かけた場合は声をかけ、立入り禁止の旨徹底させるよう願います。

◆助川山入口、おむすび池西南と馬力神植樹地等にて**カシノナガキクイムシ**の穿虫孔が多数確認されている。ナラ枯れ被害が拡大しないよう市には早期の処置をお願いしているが、各位には穿虫孔が確認された場合は当該木の幹一周に**黄色広幅粘着テープを貼り**、表示をお願いします。（テープは森の教室に常備）

◆最近、枯損木が増え強風が吹くと枝折れ、倒木が散見される。パトロール時には鋸を携帯し、来園者に被害が出ないよう枝切等の処置をお願いしたい。

担当：（梶川）

令和５年度のパトロール計画と実施日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画	3	4	3	3	1	2	2	3	3	2	4	3
実施	**3**	**2**	**2**	**3**	**1**	**2**	**1**	**3**	**3**	**2**	**4**	
中止	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	

おむすび池

「ナラ枯れ」について

★「ひよどり越え」付近のミズナラが**ナラ枯れ**で伐採され、処理されたがその後ネイチャーセンター前のやまぐりの丘でも何本かの樹木にナラ枯れの心配があり市へ報告し対応を依頼している。

★ナラ枯れは、**カシノナガキクイムシ**（カシナガ）が媒介するナラ菌によりミズナラ等が集団的に枯損する現象で、全国的に被害が発生していると云われている。

★ナラ枯れは**ナラ類**や**シイ・カシ類**などの広葉樹に見られ、他樹木には及ばないようだ。以前日本海側で増加し、最近は全国に拡大していると云う。

★茨城県のナラ枯れは令和二年九月に初めて確認され、現状では**ほぼ全地域**で確認されているとの事です。ナラ枯れは樹木の伝染病とも云われ防止には自治体による防止体制が大事と思われる。保全くらぶとしては発見したら市への連絡を忘れず拡大防止に努めたい。（睦）

ナラ枯れにテープ巻き

くらぶ内外の話題

◆樹木の呼吸について
樹木の光合成は広く知られているところですが、呼吸についてはあまり知られていないように思われる。

◆樹木など植物は、光合成によって大気中の二酸化炭素(CO_2)を吸収することは良く知られており、地球温暖化に影響する二酸化炭素の増加を抑止する働きがあると言われています。

◆一方、樹木などの呼吸は、空中の酸素を取り込み、樹木に蓄えている栄養からエネルギーが作られ、その過程で二酸化炭素が出来、排出され、これを呼吸と云うようです。

編集後記

◆昨年９月の大雨被害で「ひねり沢」などが大きな被害を受けたので通行不可となり、いろいろ観察しながら会報の記事を書くにもかなり制約となっている。

◆一方、体調の方は腰痛がひどくなり、歩行に支障を来しており、野草開花など時期を得た観察が大事なので、暖かくなる頃には何とか歩行が普通に出来るようにと期待しているところ。